

科 目 名		学 年	
情報処理言語Ⅱ : Information Processing Language II		4M	
教 員 名 内堀晃彦 : UCHIBORI Akihiko			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	必修	講義・前期
学 修 単 位 ○			
授 業 概 要 データ解析, 機器制御等を目指した基礎的なプログラミングができるよう, C言語の基本習得を目指した講義・演習を行う。 この授業では, 配列や手続き(関数)の概念を理解することを目的とする。 演習時間を多めに取り, 実践的な理解を目指す。			
到 達 目 標		評 価 方 法	
(1)C言語の制御構造を理解できる。 (2)C言語の配列を理解できる。 (3)C言語の関数, 標準ライブラリ関数を理解できる。 (4)基本的なプログラムが書ける。		①中間試験(35%), ②期末試験(35%), ③(自学自習による)演習レポート(30%)によって評価する。演習レポートの提出の際に面接試験を行う。	
学 習 ・ 教 育 目 標 (B) ①		JABEE基準1(2) (c)	
回	項 目	内 容	
第1	制御構造	C言語の制御構造について説明する。	
第2	演習 (制御構造)	制御構造に関する演習を行う。	
第3	配列の基礎	配列の基礎について説明する。	
第4	演習 (配列の基礎)	配列の基礎に関する演習を行う。	
第5	配列の応用	2次元配列, 文字列等の配列の応用について説明する。	
第6	演習 (配列の応用)	配列の応用に関する演習を行う。	
第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
第8	関数の基礎	関数の基礎について説明する。	
第9	演習 (関数の基礎)	関数の基礎に関する演習を行う。	
第10	関数の応用	再帰呼び出し等の関数の応用について説明する。	
第11	演習 (関数の応用)	関数の応用に関する演習を行う。	
第12	標準ライブラリ関数	文字列操作等の基本的な標準ライブラリ関数について説明する。	
第13	演習 (標準ライブラリ関数)	標準ライブラリに関する演習を行う。	
第14	総合演習	これまでの講義内容を踏まえた総合的な課題に関する演習を行う。	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容		演習レポートを課す。	
関連科目		情報処理言語 I	
教科書		C言語(河西朝雄, ナツメ社)	
参考書		プログラミング言語C(B.W. カーニハン他, 共立出版)	
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考			